

学校だより

豊かっ子



喜多方市立豊川小学校
令和3年7月12日(月)
発行者 校長 遠藤 信恵
第7号

【教育目標】 健康で自らを育てる 心豊かな児童の育成
◎ (心も体も) つよい子 ◎ (自然と友達に) やさしい子 ◎ (真剣に) まなぶ子

学力向上をめざす校内研修の取組 ～第1回授業研究会～

児童の学力向上と教師の授業力向上をめざし、一昨年度から、研究主題を『互いに関わり合いながら、主体的に学ぶ子どもの育成 ～確かな知識・技能を身につけ、算数科における「深い学び」を目指して～』として共同研究に取り組んできました。3年次のまとめとなる今年度は、目指す児童像を「意欲的に関わり、根拠を明確にしながらか表現し、考えを広げていく子ども」とし、目指す児童像の具現のために、学び合う集団づくりを基盤に、算数科の授業研究、家庭学習の習慣化、スキルタイム、百マス計算大会等の実践に取り組んでいます。



【ノートを交換して説明し合う】



【黒板で自分の考えを説明】

6月25日(金)には、6年生で第1回目の授業研究会を行いました。比の性質を使って、「どうすれば砂糖の重さが求められるか」という課題に取り組みました。これまでの学習を振り返りながら、まずは自分の考えをノートにまとめ、次にノートを交換して説明し合うことで、お互いの考えを理解し合いました。全体での学び合いでは、3人の代表児童が黒板に書いた式や線分図をもとに、根拠を示しながら自分の考え方を説明しました。最後は学んだことのまとめを一人一人が自分の言葉でまとめるなど、全体

を通して、一人一人が課題解決に向けてしっかりと取り組んでいる姿が印象的な授業でした。

放課後には、教職員が集まって事後研究会を開き、今回の研究授業の成果と課題を話し合いました。授業形態は、教師が話す「教授型」から、子ども達に関わり合って創る「獲得型」へと変化しています。そのため、子ども達の発言を繋ぎながらねらいに迫っていくための教師の「コーディネート力」が重要とされています。さらに研修を深め、子ども達の主体的な学びを引き出し、学力向上を目指していきます。



【事後研究会】

おいしいお米が育ちますように ～除草・イオン水散布～



【「ころばし」をスーイスイと】

田んぼの稲が順調に育ち、6月23日(水)には、5・6年生が農業科支援員の只浦さんに指導していただきながら、「ころばし」という昔ながらの道具を使って除草を行いました。稲と稲の間を「ころばし」を押したり引いたりしながら雑草を取ったり、田んぼのすき間に苗を追加して植えたり、田んぼの中は泥と格闘する子ども達の元気な声が響いていました。仕上げはイオン水の散布



【力を合わせてイオン水散布】

です。長いホースを力を合わせて引っ張り、勢いよく出てくるイオン水を浴びながらも、最後まで一生懸命に活動することができました。この一手間が、農薬の少ない、安全でおいしいお米の生育につながるそうです。畑では、1・2年生が植えたサツマイモ、3年生のカボチャやダイズ、アズキ、4年生のジャガイモが、日差しを浴びながら順調に育っています。農業科支援員の細田さんが畑の様子を見てくださり、必要な作業を教えてくださいるのは心強い限りです。

自然災害から命を守ろう ～防災授業～

7月5日（月）、3・4年生で県庁危機管理課の職員による防災授業を行いました。91人もの死者を出した令和元年度の台風19号（東日本台風）をはじめ、多くの自然災害に見舞われるという厳しい状況が続いています。今回の授業のねらいは、将来、起こる可能性の高い自然災害に対して、正しい知識を持ち、自ら考え、判断し、危険から身を守る行動を取ることができるようになることです。子ども達は、これまでの様々な自然災害による被害状況について知り、避難時に必要な行動等について学びました。さらに、VRのリアルな映像と音声で、水害と土砂災害を体験しました。熱海市で大規模な土砂災害が起きた直後の授業であったため、自然災害の恐ろしさや早めの避難の大切さを、より強く実感することができたようです。今回の学びを生かして、「防災」についての意識を高め、自分の命は自分で守る行動ができるようになってほしいと思います。



【VRで自然災害を体験】

めざせ！ 家庭学習名人



6月21日（月）から27日（日）まで、「オフスクリーン強化週間」と「めざせ！家庭学習名人」の取組を行いました。「めざせ！家庭学習名人」の取組結果をお知らせします。

「家庭学習名人」になるためには、レベル1～6まで、7日間で5回クリアします

- レベル1：机の上を整理・整頓してから始める。（腰骨シャン！）
- レベル2：始める時刻を自分で決める。
- レベル3：出された宿題は最後まできちんとやる。
- レベル4：ながら学習をしない。（テレビを消す。ゲームや食べながらしない。等）
- レベル5：文字や数字を丁寧に書く。
- レベル6：自分で考えた（工夫した）自主学習をやる。（学習が終わったら、次の日の準備）



全体では、55人（約45%）が家庭学習名人になりました。課題として、1・2・3年生では、文字や数字を丁寧に書く、自主学習をやる。4年生では、始める時刻を自分で決める。5年生では、ながら学習をしない、文字や数字を丁寧に書く、自主学習をやる。等ができていない子ども達が多く見られました。ぜひ次回は、全員が「家庭学習名人」をめざしましょう。

今回の「家庭学習名人」の人数



1年生	8人	2年生	9人	3年生	11人
4年生	3人	5年生	10人	6年生	14人

ゲームやインターネットなど誘惑の多い環境の中で、よい家庭学習の習慣を身に付ける取組は、家庭学習を通して自己マネジメント力を育てることにもつながります。夏休みに向けて、学校では家庭学習の仕方を再度確認していきますので、家庭では福島県教育委員会作成の「ふくしまの家庭学習スタンダード」や「家庭学習名人」の取組を参考に、子ども達の家庭学習に関わっていただくようお願いいたします。まずは、机の上の整理・整頓と正しい姿勢から！

学校支援



教育活動のさらなる充実のため、学習活動や環境整備、学校行事等にお手伝いいただけるボランティアの方を、家庭や地域から募集しています。

学校からの配付文書や地区の回覧文書でもお知らせしていますが、関心のある方は、学校までお気軽にお問い合わせください。ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

（担当：豊川小 教頭 TEL22-0599）